

【平成 29 年度重要課題】

- I. 次期特別展に向けた組織体制強化
- II. 国内・外における展覧会開催のための調査・研究
- III. KCI 中長期事業計画立案のための調査・研究

事業計画

- 1. 世界の各時代の衣服、装身具及び関連する文献、資料等の収集、保存、及び公開
(デジタル・データを含む)

(1) 収 集

- 1) 研究・公開に必要な衣服、装身具等の収集
- 2) 図書・文献・版画等、服飾文化とその社会背景の研究に必要な資料の収集

(2) 保存・修復

- 1) 収蔵庫内環境の安定的維持
- 2) 新規収集品、展示収蔵品のコンディション記録、及び防虫・防黴対策
- 3) 収蔵品の補修

(3) 公 開

- 1) 「ファッションとアート 麗しき東西交流」展の開催
会場：横浜美術館
会期：2017 年 4 月 15 日（土）～6 月 25 日（日）
主催：横浜美術館、公益財団法人京都服飾文化研究財団、日本経済新聞社
展示：衣装、装身具、風俗画等
約 100 点
(KCI 所蔵)
服飾品、工芸品、絵画、写真等
約 100 点
(横浜美術館他所蔵)

【企画概要】

1859（安政 6）年の開港以来、横浜は西洋の文化を受け入れ、日本の文化を海外に送り出す玄関口としての役割を担ってきました。この展覧会では、19 世紀後半から 20 世紀前半のファッションと美術に焦点を当て、横浜を一つの拠点とする東西の文化交流が、人々の生活や美意識にどのような影響を及ぼしたのかを紹介します。

- 2) 練馬区立美術館「パリー「19世紀の首都」—（仮称）」展への出展協力
 会場：練馬区立美術館
 会期：2017年4月16日（日）～6月4日（日）
 主催：練馬区立美術館
 貸出：ウォルト デイ・ドレス、他 計6点

- 3) メトロポリタン美術館「Rei Kawakubo / Comme des Garçons: Art of the In-Between」展への出展協力
 会場：メトロポリタン美術館
 会期：2017年5月4日（木）～9月4日（月）
 主催：メトロポリタン美術館
 貸出：コム デ ギャルソンのドレス類 計10点

- 4) KCIギャラリーにおける収蔵品展示
 - ① 期間：2017年1月30日（月）～4月28日（金）
 展示：「こちよく、美しく。～ファッションにみる快適さへの夢」
 - ② 期間：2017年5月29日（月）～8月25日（金）
 展示：未定
 - ③ 期間：2017年9月～12月
 展示：未定
 - ④ 期間：2018年1月～4月
 展示：未定

- 5) デジタル・アーカイブスの整備と公開
 - ① KCI ホームページ内デジタル・アーカイブスの収録作品の増補
 - ② KCI スタディ・ルームでの衣装収蔵品データ・ベースの公開
 - ③ 一般公開型デジタル・アーカイブス「KCI Fashion Archives」（スパイラルにて設置）の公開および収録作品の増補
 - ④ Google Arts & Culture への収蔵品情報提供及びWEB上で公開

2. 収藏品・資料に基づく衣服及び衣服と諸分野の関連についての調査・研究

(1) KCI 収蔵品及び現代ファッションの調査・研究

- 1) ファッションにおける日本の影響に関する調査
 2018年より米国での展覧会開催を視野に入れた出展品等の調査
- 2) 次期特別展に関する調査
 2019年頃に京都開催を計画している特別企画展における出展品等の調査

(2) KCI 収蔵品のパターンの研究・作成、レプリカの作成

3. 収集品・資料の保存、公開に関する技術的研究と実践、及び施設の設備運営管理
 - (1) 収集品の写真類、及び資料のデジタル・データ化とその保管の推進
 - (2) 収蔵庫の温湿度管理、及び設備管理
収蔵庫を 250m² 拡張し作品収蔵環境の改善を図る。既存収蔵庫と同程度の調温調湿機能、及び虫害対策を施し、2018 年 1 月より運用開始予定
 - (3) KCI ギャラリーの設備・展示什器の整備
 - (4) 中長期事業計画立案に資する設備運営管理方法の調査・研究
範例となる国内外の美術館・博物館の施設の調査
4. 衣服文化に関する解説書、目録、及び研究報告書等の作成、及び頒布
 - (1) 収蔵品目録、解説書、研究誌作成のための収蔵品写真撮影
 - (2) 学術研究誌への研究論考投稿。専門紙誌、一般紙誌への服飾関連論考の寄稿
 - (3) 財団研究誌『Fashion Talks...』の発行、及び『Dresstudy』過去論考の KCI ホームページ上での公開
 - (4) 広報誌『服をめぐる』の発行、およびバックナンバーの KCI ホームページ上での公開
5. 衣服文化に関する講演会、研究会等の主催、及び学校、企業等と連携して行う社会教育及び専門家の育成
 - (1) 大学等における服飾史等の講義
 - 1) 京都精華大学 講義「ファッション史」(前期)
 - 2) 同志社大学 講義「デザイン理論Ⅱ」(後期)
 - 3) エスペランサ靴学院 特別講義「ファッション史」(秋季)
 - (2) シンポジウム・講演・研究会等への参加
 - (3) KCI ギャラリーでの展示品解説、及び関連レクチャーの実施

- (4) 学芸員資格取得志望学生のための博物館実習開講
会期：2017年8月28日（月）～9月1日（金）
受講者：公募審査による約15名
- (5) キュレーター及びレストアラー（修復技術者）の育成
 - 1) 展覧会、ギャラリー展示、講演会等の企画立案・実施
 - 2) 収蔵品、新収集品の調査・研究
 - 3) 現代ファッションの動向調査、資料収集
 - 4) 博物館実習のカリキュラム作成、運営
 - 5) 学会、シンポジウム、発表会、展覧会等への参加、視察研修
 - 6) インターンの受入れ
6. 国内外の博物館等と連携し、刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借等の実施。
これに基づく国際文化交流。
 - (1) 展覧会の企画・出展協力
 - 1) 東西交流をテーマにした米国での巡回展の企画
 - 2) 次期特別展の企画
 - 3) 練馬区立美術館「パリー「19世紀の首都」—（仮称）」展への出展協力
 - 4) メトロポリタン美術館「Rei Kawakubo / Comme des Garçons: Art of the In-Between」展への出展協力
 - (2) 海外美術館の服飾所蔵品に関する調査、情報交換
 - (3) 時代マネキンの紹介
平成22年度に監修・開発した18世紀紳士用マネキンを含めて紹介・普及

以 上